



# 尾久西だより

荒川区立尾久西小学校

発行日 平成29年 2月 1日

発行者 校長 末永 寿宣

## No. 312 2月号

## 言語能力の向上をめざして

東京都教育委員会言語能力向上拠点校研究発表会

「自分の思いや考えを豊かに表現する児童の育成」

～音読・朗読を生かした国語科の指導を通して～

校長 末永 寿宣

1月24日(火)は、ご多用の折、また大変寒い天候の中、大勢の皆様にご参会をいただき、これまでの研究の成果の一端を発表させていただくことができました。ご参会いただきました皆様方に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ご講演及び古典落語をご披露いただきました落語家、桂やまと師匠は、本校OBであり、地域協力者としていつも温かく子供たちを見守ってくださっています。また、玉川大学客員教授：宮島雄一先生、ソフィアの森朗読塾主宰：斉藤ゆき子先生のお二人には、年間をとおして、何度も本校での研究授業等でご指導をいただきました。この継続的なご指導により、軸のしっかりとした研究が進められたと思っております。

さらに、本校は尾久地区の地域の皆様に日々支えられ、教育活動を行っており、子供たちが毎日学校で楽しく生活できますのも、地域の方々のお蔭でございます。子供たちを地域の財産として、大切に育てていただき、ありがとうございます。

さて、本校では、授業に音読を多く取り入れることで、想像を広げ、自分の気持ちを表現できる児童の育成を目指して、研究を進めてまいりました。研究の主な内容は以下の4点です。

### (1) 言葉による発信力を高める取組

○音読・朗読を取り入れた効果的な授業の構築を図ります。

### (2) 美しい日本語を身に付ける取組

○俳句や短歌、古典文学等の音読や暗唱に挑戦します。

### (3) 豊かな読書生活をはぐくむ学校づくりの推進に関する取組

○個人読書記録、読書バッチによる意識の向上を図ります。

○ブックフェスティバル等による読み聞かせを充実させます。

### (4) 保護者・地域への発信に関する取組

○保護者・地域向けの講演会や研究発表会を充実させます。

○学校ホームページを活用した情報発信に努めます。

もとより、学習の根底をなすのは、学校ではありませんが、音読の習慣をつけるために、ご家庭でも音読を推奨し、ご協力をいただいているところです。その成果は、音読をすることが好きな子供が増え、自分の考えを相手に伝える自信もついてまいりました。

今後も国語の学習はもとより、児童の体験活動の機会を増やすことで、表現する力をさらに高めるため、努力してまいります。保護者・地域の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、これからもご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



↑どのクラスも音読を中心とした授業に集中し、はりきって授業を受けていました。お客様に挨拶がよくできていて、子供たちは立派でした。人に見られることで、自分の姿を顧みる習慣がつかえます。



↑アトラクションとして、5・6年生が群読「北の春」「学問のすゝめ」、合唱「大切なもの」を披露しました。素敵なハーモニーに心があつくなりました。



↑桂やまと師匠による古典落語を堪能しました。地域の方々がたくさんお出でくださり、大変盛り上がりしました。